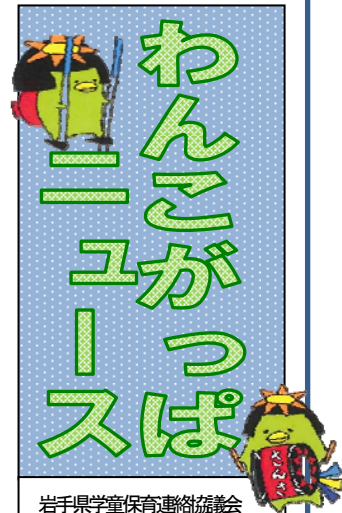


「基準維持」求め取り組み



岩手県学童保育連絡協議会
〒020-0122
盛岡市みかげ3-38-20
岩手県青少年会館内
Tel・Fax 019-681-0651

第50回定期総会

岩手県学童保育連絡協議会は6月16日、盛岡市の岩手大学で第50回定期総会を開きました。岩手県内の学童クラブから約172人が出席しました。総会に先立ち開かれた学習会では、佐藤愛子全国学童保育連絡協議会事務局次長が「学童保育の情勢と課題」と題して講演。「従うべき（職員配置）基準の緩和は一部の事業者や市町



学童保育の課題について講演する佐藤愛子全国連協事務局次長

昨年県連協の呼びかけで議会への請願に取り組んだ。12月6日に議会に請願書を提出。21日に採択された。県内市町村でもいち早く取り組みることができたのは県



市長 基準維持を明言

滝沢市連協 水本 真美 指導員

連からの情報や資料があったから。2月議会の一般質問で参酌化について「議会では国へ意見書を出したが滝沢市は今後どうしていくのか」という質問があり、滝沢市長は「もし、基準が参酌化されても、滝沢市は現状の条例を改正しないと明言した。これはこの取り組みを通じて引き寄せた言葉だった。



法人化の検討始める

気仙連協 小松 智枝美 保護者

への機会が変わってくる③学童保育の社会的責任が大きくなっており、任意の保護者が運営するスタイルでよいのかーなどの問題意識があった。陸前高田市では保護者の負担軽減を理由に市長が法人化の検討を行っているとの情報もあるが、全国には学童保育に全く関係のない企業が運営にあたり、問題が表面化している例がある。 私たちはあくまで学童保

総会発言要旨

村の都合を優先させたもので、『子どもにとっての最善の利益を守る』という児童福祉法の理念に逆行するもの」と強調し、「基準が緩和されても、市町村は条例を改定しなければならぬ訳ではない。また、現行の条例の内容を変更する際には、住民・利用者への説明、子ども・子育て会議や市町村議会での議決が必要だ」と述べました。

- | | |
|--|-----------|
| 衆参両院で付帯決議がついたことは、私たちが様々な取り組みを行ってきたことの成果だ」と述べた上で、「今後は、市町村に基準の維持を求め、動きを見ながら条例を改定させないよう取り組みを強めていく」と語り、運動への結集を呼びかけました。 | とおり。 |
| 議長では18年度活動報告、決算報告を承認。19年度運動方針と予算を採択し、役員を選出しました。会長には役員の互選により千田広幸氏が選任されました。選出された新役員は次のとおり。 | |
| 会長 千田 広幸（滝沢） | 日當 浩子（久慈） |
| 副会長 横道 知亮（久慈） | 勝田 房子（滝沢） |
| 小笠原秀夫（盛岡） | 武田 恵実（滝沢） |
| 本宮 信也（花巻） | 沼山 真也（盛岡） |
| 酒井 浩文（北上） | 八重樫恵子（盛岡） |
| 阿部 勝（気仙） | 小松 紀幸（花巻） |
| 事務局長 門田 弘之（滝沢） | 古川 晴一（花巻） |
| 阿部 脩平（花巻） | 武藤 一弘（北上） |
| 事務局次長 橋本 有紀（盛岡） | 今野 綾子（北上） |
| 岩脇美由紀（気仙） | 永洞 清（北上） |
| 比内沙耶火（気仙） | 志田 俊一（気仙） |
| 会計 嘉村 祐之（盛岡） | 小姓堂里美（滝沢） |
| 小松 智枝美（保護者） | 細野 優希（盛岡） |
| 事務局員 天麻 遼太（久慈） | |

育の大切さや現場を知っている人たちが法人化を図るべきと考えている。保護者にも、指導員にも、

要望実現し市が新施設

北上市連協 高橋 直樹 保護者



北上市からの報告は3点。①今年いわさき学童保育所が10周年を迎えた。北上

市の協力で第3学童開設

久慈市協 村上のり子 保護者



久慈学童保育所みつばちの家は2単位で運営しているが、児童数が基準を超過し、市長交渉で第3学童の設置を要望していた。支援員からも保育中の事故への不安の声が聞かれ、対応が

そして何より子どもたちにとつてよりよい運営形態になるように引き続き、学習会や話し合いを続けていく。

市長をはじめ議員や市内の学童関係者、OBなどが集まり歴史を振り返り、感謝を伝えるお祝い会を行った。②笠松小学校が耐震に問題があり、新築移転するようになった。児童は現在、西和賀小に通っている。学童保育は以前の場所であり、子どもたちは北上市が用意し

急がれていた。市には学校内施設や新たな学童保育施設の建設を要望していたが、早期対応が難しいとのこと、民間物件を探し、学童保育に活用できそうな空家を確保。市の協力で施設を改修し第3学童を開設することになった。現在は改修工事が終わり、早期開所に向け、準備中。久慈市、父母会、指導員が協力して進めている。

市に要望書提出

盛岡市連協 小嶋 美沙子 保護者



たバスで帰ってくる生活。来年度は仮設小学校を建てる予定で、子どもたちは3回も小学校を引越ししなければならぬ。父母会としても子どもたちが安心して生活できるように、努力を重ねている③江釣子学童保育所は4つ支援の単位が2カ所に分かれて運営しているが、市がふるさと納税を活用し2階建ての施設を建設してくれることになった。「専用施設で、4クラブ同じ場所」で、要望を継続してきたが、それが実現した形。父母会で運営方法や規約の見直しをしている。

ほいく誌で学び深める

花巻市協 菊地 俊介 指導員



盛岡市連協の活動としては、市への要望などを行っている。昨年度はひとり親世帯や経済的に苦しんでいる世帯への保育料軽減の助成金創設などを要望した。盛岡市は学校内に児童セン

花巻市連協で指導員の資質向上を目指し研修事業を行っている。最近では赤字職員による、身近なケガの対処法、市防災管理課職員による、防災・自助の講義などを行った。また分科

会を設けて様々なテーマで学びを深めている。分科会のひとつでは「日本の学童ほいく」を用いたグループ討議を行っている。事前に示された課題について事例発表や意見交換をし、参加者からは「ひとつの課題をみんなで深く考える時間が有意義」などの感想が聞かれた。今後も継続し、毎日の保育に役立てていきたい。

私と学童

岩手県連協 広報 高橋 洋一郎さん



ターを移す計画があるが、具体的にある学区で児童センターの移設を検討してい

るといふ情報があった。その学校の敷地内にある学童保育への影響が懸念されるため、今後の盛岡市でのモデルケースになると捉え、学童保育の現状維持、拡充を別立てで要望した。

県連協で広報を担当しています。立場は保護者OBです。うちの子は、はじめ本宮学童に入所しましたが、向中野小の開校で本宮学童を分割することになり、向中野学童に移りました。当時は低学年の父母でしたが、子どもたちのために学童保育を開所してくれた先輩父母の皆さんを見ていたので、自分が役員になることに抵抗はありませんでした。役員をしていた時に、岩手全国研があり運営に携わりました。参加申し込みの受付担当で、仕事が終わってから県連事務所、他の学童の父母と一緒に作業をしました。大変でしたが、今ではよい思い出です。その後、盛岡市連協の役員、県連協の副会長を務めました。その間にわが子は小学校を卒業し、OBになりました。連協に携わってみて感じることは、裏側で学童保育を一生懸命支えてくれていた人たちがいるから、今まで安心して子どもを預けることができたということです。自分も学童保育のために何かしたいと思、今もお手伝いしています。自分が役員をしていた時は悩んだり、難しい状況もありました。父母会が代替わりしていく中で、次代の父母会長さんには同じ思いをしてほしくないという気持ちがあります。